

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1072200320		
法人名	株式会社 ヴィラージュ		
事業所名	グループホーム上白井の家		
所在地	群馬県渋川市上白井2578-11		
自己評価作成日	平成29年8月6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人群馬社会福祉評価機構		
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12		
訪問調査日	平成29年8月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

その人がその人らしく生活出来るよう支援をしています。特に個別ケアに力を入れ園芸・体操・塗り絵など個々に行いたいことを把握して、継続できるように支援しております。いつまでも自由な生活が出来るように午前・午後と予定表を作り、体操・レクリエーションを楽しみながら筋力運動が行えるよう力を入れております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念にある「利用者が自分らしい生活を送れる」ためのケアが提供できるよう、常に利用者、家族の声に耳を傾けるように努めており、利用者としつくり話しを聞く機会を設け、家族には面会時に利用者の様子を伝えながら意見や要望を引き出す働きかけを行い、さらに、年1回アンケートによる満足度調査を実施し、結果を家族に返すとともに日々のケアに活かすよう取り組んでいる。職員には目標に向かって頑張るというモチベーションアップにも繋がるよう、法人の運営目標を踏まえた個人目標を立ててもらい、3ヶ月毎に管理者との個人面談で振り返り、達成状況を話し合っている。個人面談は、職員が直接管理者に悩みを相談したり要望を伝えたりできる場にもなっている。また、申し送り時や月1回の処遇会議でも職員は気兼ねなく意見を出し合っており、日頃から何でも言える職場づくりに努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所と台所に掲示し、誰もが確認できるようにになっています。毎朝、申し送り時に唱和して共有に努めております。	利用者が本人らしい生活ができることに重点を置き、趣味や今までしてきたこと、したいことなどを大切にし、個別ケアに力を入れて取り組んでいる。利用者の気持ちや状態は日々変わるので、それに応じたケアができるよう、毎朝の申し送り時に振り返りを行い話し合っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入会しています。道路清掃に参加したり近くの保育園の園児との交流も作っています。また、近所で農作業されている方から野菜を頂いたりと交流を深めております。	近所には住宅が3軒しかなく交流が難しい環境であるが、事業所として自治会に加入し道路清掃などに参加、散歩の際には農作業をしている地域の方と積極的に挨拶を交わしている。また、地域のお祭りに出かけたり、近くの保育園の園児の訪問があったり、交流が図られている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生委員や自治会の方との情報交換や包括支援センターや居宅事業所への営業活動を通して情報収集しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を開催しており、市担当者、町内会の方を交え情報交換を行っております。行事にも参加して頂き意見や感想を頂き、サービスの向上に努めております。また会議内容を閲覧出来るように設置しております。	2ヶ月に1度開催し、利用状況や行事報告、運営に関する説明などとともに情報交換を行っている。メンバーには、今後の取り組みの参考にするために納涼祭やクリスマス会などの行事に参加してもらい、意見や感想を聞いている。家族は、代表のみの参加となっている。	家族の参加については、全ての家族に案内を送り参加を働きかけるなど工夫をしながら、代表だけでなく多くの家族に参加してもらえるような取り組みを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要書類の提出は市町村の担当者に直接、手渡しております。その際、現状報告を行い事故があった際も早急に連絡をとっております。	市への各種書類の提出は、担当者に直接会って手渡しをし、その際には、事業所の状況報告や介護保険関係の相談、また、市からの情報も得られるよう努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部・施設内研修を定期的に行い、職員に身体拘束の基準を把握してもらい、身体拘束を行わないケアに取り組んでいます。また、「身体拘束廃止宣言」を事業所内に掲げています。	研修会に参加した際には伝達講習を行い、職員間で内容の共有に努めている。日々のケアの中で不適切な言葉掛けなどがあれば、その場ですぐに話し合いを行っている。玄関ドアはオートロックになっているが、外に出たい人がいれば職員が寄り添って一緒に外へ出かけるなどの支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内研修や参加した職員による持ち帰り研修を行っています。日々の生活の中で、言葉かけやケアの方法などを職員間で話し合い、虐待防止に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修に参加し、参加した職員による持ち帰り研修で情報共有に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項説明書で丁寧な説明に努め、了承を得たうえで、契約をしています。又改定時には書面で説明と同意を得ております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を設置しています。面会に来所された時には利用者様の状況を報告・相談しております。また、重要事項説明書に施設内、施設外の苦情窓口の連絡先を掲載し施設の玄関に掲示しています。	年1回、職員の態度や対応、ケアの内容などについて満足度調査を実施し、結果を集計して家族に返している。また、家族とはなるべく多くコンタクトを取るよう努めており、比較的多くの家族が面会に訪れているが、その際にも意識的に心配事や要望など聞き取り、日々のケアや環境の改善に活かすよう取り組んでいる。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度処遇会議をしています。業務内容の見直し等意見交換しています。その他でも随時職員の意見に耳を傾け業務に反映をさせております。	職員が意見を出し合い作成した法人の運営目標を踏まえ、職員は個人目標を立てて、3ヶ月ごとに達成状況を、管理者と個人面談で話し合っている。毎月行なう処遇会議では、業務内容の見直しや環境改善、新たな取り組みなどの提案も出されており、話し合いながら業務に活かせるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課表をもとに、面談を行い働く意欲が持てる助言と職場環境の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修に参加して頂き、スキルアップの機会を設け、職員一人一人に合った段階に応じた育成研修へ参加する仕組みを設けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型協議会に加入し、開催される研修や勉強会に参加したり、外部研修に参加しネットワーク作り、支援の向上に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が不安なこと、ご要望を傾聴し、ご家族や主治医・ケアマネから情報を頂き、ご本人が不安なく生活出来るように留意しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学や申込みの際に、本人・御家族が抱えている不安や悩みを受け止めて、どのように支援していくかを共に考えて関係作りに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・御家族のサービス支援に対する希望や意向をお聞きしたうえで見極め、他のサービス利用も含めた対応をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日の生活の中で、利用者様と一緒に出来ることを心掛け、過ごす事で職員の喜びに繋がっている事もあります。その生活の中で信頼関係を築いていけるようにしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日頃から話し易い雰囲気づくりを心掛け、相談させて頂き、御家族とともに支えていく関係作り行っております。面会時に近況をお伝えしたり、ご本人がご家族とお話したい時には電話での支援を行っています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時には部屋で心行くまで会話を楽しく頂けるよう環境作り行っております。外出や外泊ではご家族の協力を得ながら、大切な時間を過ごして頂いております。	家族が連れて外出する事が多いが、友人と同窓会などに出かける方や知人が面会に来てくれる方もいる。面会時には、居室やデイルームで利用者と一緒にゆっくり談笑してもらえるよう配慮している。地元の利用者が多いことから馴染みのある近くのお寺への花見や宿場跡の見学などに出かけるなどの支援も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間の交流が円滑に進むよう職員が仲介に入り、楽しく過ごせるよう努めております。一つのテーブルを囲い利用者様同士で楽しむ方法を考えゲームを行っている場面も見られております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談がいつでも行えるような関係作り、相談時には支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々の面談を行い、話しやすい環境作りに努め、自分の意向が伝えにくい方には御家族や関係者から情報収集を行い、思いに沿うように検討している。	過ごし方については、家族と話し合っている。利用者からは、居室などにおいてゆっくりと話せる雰囲気の中で気持ちを聞くようしており、自分から話さない利用者に対しては、その表情や雰囲気を感じながら職員が声掛けを行っている。把握された思いは、毎日の申し送り時に職員間で共有を図り、応えられることは早め早めに対処するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス前やサービス開始後に本人、御家族からの聞き取りを行い、これまでの生活習慣や好みの把握、職員間での情報共有に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	モニタリングやケアカンファレンスでは個々の介護サービス記録や経過記録を見直しながら、現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人からの聞き取り、モニタリングでは職員から聞き取りを行い、御家族が面会時には介護計画についての確認、意見を伺いながら介護計画の作成に努めています。	モニタリングは毎月行い、計画作成担当者が利用者、職員から意見を聞き取り、「日課記録」や「経過記録」などを踏まえ見直しを行っている。家族には、面会の際に案を確認してもらい要望があれば取り入れられている。なお、「日課記録」は、計画に対してどうであったかの視点で記録を行い、計画に沿ったケアが提供できるよう努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々に介護サービス日課記録や経過観察記録を記入して、日々の状態把握に努めています。申し送りやカンファレンスで読み返し確認を行い、情報共有、介護計画の見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、御家族からの要望や必要とすることを実践するために話し合い柔軟な支援や様々なサービスの多様化に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方による歌・楽器演奏の慰問、地域の保育園との交流を取り入れております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回定期受診と要望のかかりつけ医の受診を職員立会いのもと行っております。受診後は職員間で共有し、家族への報告も行っております。	職員は、月2回の協力医による定期往診に立ち合うほか、以前からのかかりつけ医受診時に家族が連れて行く場合にも付き添い、利用者の日々の様子などを伝えている。受診の結果は、家族に面会時や電話などで報告するとともに、利用者ごとの「経過記録」に記載し、職員間で共有できるようにしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	関係医療機関やかかりつけ医、看護師へ日常の様子や異常時の様子を伝え指示を仰ぎ、適切な受診や処置が行えるようにしております。また、週1回の看護師訪問時に伝え、相談行い連携に努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院と連絡を取り状況把握や、職員が週1回は面会に行くようにしております。面会時には御家族との情報交換行っております。病院関係者に相談・協力をして頂くなど関係作りを行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化に対する指針を文章にて説明するとともに、重度化が予測される段階で主治医に相談し、ご家族を交え方針を話し合う事しております。	契約時に、重度化した場合の指針を作成し説明している。入院が必要となるなど重度化した場合には、その状態により医師・家族と今後についての相談を行っている。なお、29年8月から医療連携体制加算を導入しており、看取りの必要が生じた際には協力医療機関との連携により、適切な対応ができる体制が整備されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修に参加して、敏速な初期対応・応急手当が行えるようにしております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署立会いのもと、夜間を想定した避難訓練を、年2回利用者様とともに行っております。その他の災害に対してもマニュアルを作成、自主訓練を行っております。また災害に備え食料品の備蓄もしております。	年2回、消防署立会いのもと夜間を想定した避難訓練を行っている。地震や風水害など火災以外の災害に関しては、マニュアルをすでに作成しており、11月には訓練を実施する予定である。地域住民に対しては、自治会長を通じて災害の際の協力依頼は行っているが、訓練への参加はない。	近隣の方や地元消防団とも訓練への参加を含め協力関係を築くとともに、棟続きにある専門学校学生寮の学生にも協力が得られるような働きかけを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人ひとりの意見や人格を尊重し、その人に合った言葉かけや対応を行っております。また、個人名が記載してある書類は外部の目に触れないように保管しています。	デイルームでは、プライベートの事に関してはそつと声掛けをし、その人にあつた対応に努めており、呼称は名字または名前に「さん」を付けて呼んでいる。トイレ介助では、自分で出来る方にはトイレの外で見守るなどの対応を行っている。居室の入り口には個人名は掲示していない。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	レクリエーションの際は色々なレクリエーションの中から利用者様に選んで頂き、選択の幅を設けております。また水分補給時には飲み物のメニューを見て頂き、飲みたいものを選択して頂くなど自己決定を促しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様が起きたい時間や就寝時間等、その日の気分や体調に合わせ、出来る限りご本人様の希望に沿って過ごせるよう努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容を活用し、ご本人様の希望の髪型・カラーをセットして頂いております。また、その日の気分で服装や髪型など希望に沿うよう支援を行っております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材や要望を献立に加えたり、おやつを職員と作って頂く時間も作っています。また、好みに合わせた変更に対応しております。食後には片付けやテーブル拭き等、無理の無い範囲で職員と一緒にさせて頂いております。	献立は法人内の事業所が交代で作成し、食材は業者から仕入れるほか事業所横の畑でとれた野菜なども使って調理し提供している。食べたい物がある時は、メニューを変更することもある。食事の前には調理を担当した職員が献立の説明をするなど工夫した取り組みを行っており、毎日の習慣として片付けやテーブル拭きなどを手伝う利用者もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後の食事量・水分量を確認、記録しております。一人ひとりの嚥下状態や習慣に応じ、食事形態を変えたり、自助具の用意をしております。また、好みの飲み物を把握するなど水分確保に注意しています。栄養バランスに注意し、食欲をそる盛り付けや好みを把握し支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりに合った口腔ケアを行うとともに口腔状態の把握をしております。口腔ケア時には声かけや見守り、介助を行っております。義歯を利用されている方は、毎日消毒を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	チェック表を基に個々の排泄パターンの把握に努め、個々に合わせた時間にトイレ誘導・介助を行い、自立にむけた支援に努めています。失禁時には清拭や洗浄により清潔保持に努めております。	ほとんどの利用者はリハビリパンツの使用であり、トイレ誘導は排泄チェック表をもとに声掛けをしている。夜間はポータブルトイレの使用やベットにセンサーを設置し、対応している利用者もいる。よく休まれているときは時間をずらして声掛けを行うなど配慮しながら、それぞれの利用者の状態や様子に応じた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	チェック表を基に排便のリズムを把握し、食物繊維の摂取や食事内容、水分の種類を工夫したり、腹部マッサージを行うなど個々に合った便秘予防・排便コントロールを行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴前にはバイタル測定や体調確認を行い、本人の希望やタイミングに合わせて入浴して頂いております。また入浴剤や季節の物を入れて入浴を楽しんで頂いております。	体調や入浴する時間の希望なども取り入れ、利用者の様子や気持ちに合わせてながら週2回を目安に入浴してもらっている。拒否のある方には、時間をずらしたり介助職員を交代したり工夫しながら対応している。時にはゆず湯や入浴剤を使い、入浴を楽しんでもえるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方のこれまでの生活習慣や睡眠リズムを把握し、空調管理や照明、精神状態の安定に気を配り、安眠に繋げられるよう努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の薬の処方時、薬局から頂く処方箋や薬の働き・副作用が記載された用紙をファイルし、職員全員が薬の用量や用法の理解に努めております。服薬変更時には体調に変化がないか注意深く様子観察を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様自ら生活の中の役割として、洗濯物たたみや食後の片付け、花の水やり等をして頂いております。趣味として塗り絵などを行う支援、毎月イベントを設けており、その他にも慰問、ドライブなど楽しんで頂いております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	年間行事の他に散歩や行きたい場所見たい物等希望を聞きドライブへ出掛けております。また御家族に協力して頂き、外出や外泊の支援してを行っています。	週3回位は散歩に出かけ、日常的に天気がよければ入り口のベンチにて外気浴を楽しんでもらっている。花見など季節行事のほか、それぞれの利用者から行きたい場所などを聞くように努め、希望に沿ってドライブに出かけるなど支援している。また、家族の協力を得て自宅や墓参りに出かける利用者もいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様・ご家族様と協議の上で必要、希望に応じて買い物に付き添わせて頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族の確認の上で、ご本人様が電話したい相手へ電話の取次ぎを行ったり、年賀状や手紙等の作成等を行っております。また携帯電話をお持ちの方は自由にお話されておられます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間では清潔の保持や温度管理を常時、行っております。壁には外出時の写真や共同作品等を飾り、明るく安らぎがあり、思い出を共有できる空間作りにも努めております。	共有空間は明るく清掃が行き届いている。廊下の隅にはソファ、玄関前にもベンチが置かれ、くつろげるよう工夫されてる。ホールの畳のスペースは休むこともでき、季節を感じてもらえるよう草花や鉢植えが置かれており、キッチンでの食事の準備の様子も見ることができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間では利用者同士の交流が取れるよう椅子やソファを用意しており、和室スペースもあります。どこの席でも会話を楽しんで頂けるようになっております。また一人で過ごされたい方への配慮も行っております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は掃除・整理整頓を行い清潔保持に努めております。本人、御家族の要望を取り入れながら過ごしやすいよう工夫しております。	居室内はきれいに掃除や整理がされており、その人にとって馴染みの家具が持ち込まれ、壁には家族の写真や自宅の庭に咲いた花の写真・孫からの手紙などが貼られている居室もある。どの居室からも外の景色が眺められるようになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有スペースはなるべく広い空間を設け、一人ひとりの身体機能に合わせて残存機能が最大限に生かされるよう支援しております。また居室やお手洗い等は分かり易い標記にするなど工夫しております。		